



(1 / 2)
20240822 評基認第 001 号
2024 年 9 月 5 日

認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JNLA 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: JNLA 070252JP Testing

適合性評価機関の名称: 株式会社イーエス総合研究所 材料試験所

法人の名称: 株式会社イーエス総合研究所

適合性評価機関の所在地: 北海道札幌市東区中沼西四条一丁目 4 番 13 号
(関連する事務所あり)

認 定 範 囲: 2 ページ目以降に記載の 6 区分

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JNLA 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2024 年 2 月 24 日

認定の有効期限: 2028 年 2 月 23 日

初回認定発効日: 2016 年 2 月 24 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 堀 坂 和 秀

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

試験所名 : 株式会社イーエス総合研究所 材料試験所
 試験所所在地 : 北海道札幌市東区中沼西四条一丁目4番13号
 実施する業務 : 試験、結果の報告及びマネジメントシステム運用(全認定範囲)

関連する事務所名 : 株式会社イーエス総合研究所 本社別館
 関連する事務所所在地 : 北海道札幌市東区中沼西五条一丁目8番1号
 実施する業務 : 試験業務(試験実施場所)

関連する事務所名 : 株式会社イーエス総合研究所 第1実験棟
 関連する事務所所在地 : 北海道札幌市東区中沼西五条一丁目8番21号
 実施する業務 : 試験業務(試験実施場所)

関連する事務所名 : 株式会社イーエス総合研究所 第2実験棟
 関連する事務所所在地 : 北海道札幌市東区中沼西五条一丁目8番22号
 実施する業務 : 試験業務(試験実施場所)

<認定範囲>

認定発効日：2024年2月24日							
分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類 (試験方法の 区分の名称)	構成要素、 パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、 項目番号及び記号	特記 事項		
土木 ・ 建築	建築材料	骨材試験	粒度分布、微粒分量、 単位容積質量、有機不 純物、密度・吸水率、 すりへり減量、安定 性、粘土塊量、アルカ リシリカ反応	試験方法規格 JIS A 1102 JIS A 1103 JIS A 1104 JIS A 1105 JIS A 1109 JIS A 1110 JIS A 1121 JIS A 1122 JIS A 1137 JIS A 1145 8.1、8.2及び8.3.3 JIS A 1146	-		
				これを引用する規格 JIS A 5005 7.2、7.3、7.4、7.5、7.6、7.7及び7.8 JIS A 5308 附属書JAのJA.10 a)、JA.10 b)、JA.10 c)、JA.10 d)、JA.10 e)、JA.10 f)、JA.10 g)、 JA.10 h)、JA.10 k)、JA.10 n) 及びJA.10 o)	-		
				コンクリート・セメント 等無機系 材料強度試 験	圧縮強さ	試験方法規格 JIS R 5201 11 (ただし、圧縮強さに限る) これを引用する規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.8及びJC.7.2.5 (た だし、A法に限る)	-
				セメント・ 混和剤(材) 試験	セメント凝結時間の差	試験方法規格 JIS R 5201 9 これを引用する規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.7及びJC.7.2.4	-
		湿式重量・ 減量・残 分・灰分試 験	懸濁物質の量、溶解性 蒸発残留物の量	試験方法規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.4及びJC.7.1.5	-		
化学品	化学製品	湿式容量分 析	塩化物イオン量	試験方法規格 JIS K 0101 32.3 これを引用する規格 JIS A 1144 4 b) JIS A 5308 附属書JAのA.10. p)、附属書JCのJC.7.1.6及 びJC.7.2.3	-		
				イオンクロ マトグラフ 分析	塩化物イオン量	試験方法規格 JIS K 0127 これを引用する規格 JIS A 1144 4 d) JIS A 5308 附属書JAのJA.10. p)、附属書JCのJC.7.1.6 及びJC.7.2.3	-

備考：認定の区分は、官報及び認定機関のホームページ等で公表された最新版の区分表が適用される。